



～おっぱい通信～

令和3年 10月発行

みなさん、最近新型コロナと同様、流行しているRSウイルスはご存知ですか???

例年は冬季に流行が見られていましたが、近年は7月頃からの発症が多く、
2021年なり感染者数も増加していると報告されています。

風邪症状と似ているRSウイルスは重い肺炎まで症状は様々です
感染力が強く、乳幼児は罹患しやすく大人も同様に罹患する可能性があります。
ここで今回はママが風邪やRSウイルスに罹患したときの母乳についてお話しします。

RSウイルスってなに？

かぜなどの呼吸器感染症を引き起こすウイルスの一種

保育園や幼稚園など施設内感染に注意が必要

きょうだい（兄・姉）がいると発生しやすいといわれています

風邪と同様、飛沫（咳やくしゃみ）・接触（ウイルスが付着したドアノブ等に触れる）による感染によって発症する



風邪をひいた時やRSウイルスに感染した時って母乳をあげてもいいの？赤ちゃんに直接吸ってもらっていいの？



ウイルスの原因は接触・飛沫感染であり母乳からは

感染しないため、**母乳をあげても大丈夫です。**

風邪薬に関してママが内服した薬は母乳中に検出されますがきわめて微量なので児に悪影響を及ぼすことはありません。その他、服用している薬で心配な場合は医師や「妊娠と薬情報センター」などの支援機関に相談しましょう。

また、ママが赤ちゃんのケアが可能な状況であれば、マスク着用をしっかりと手洗いうがい・消毒等、感染対策をして直接吸ってもらうことが大切です。

ママが赤ちゃんのケアが難しい際でも、母乳育児の継続は、栄養面・免疫・愛着のために望ましく、搾母乳を健康なご家族に与えてもらいましょう。



お問い合わせ先

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

育児支援委員会

住所：名古屋市北区平手町1-1-1

電話：052-991-8121 FAX：052-916-2038